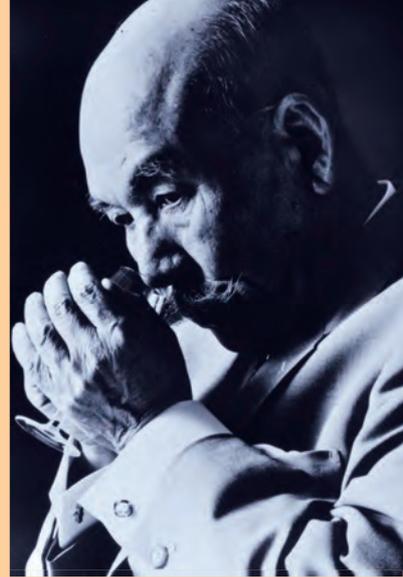
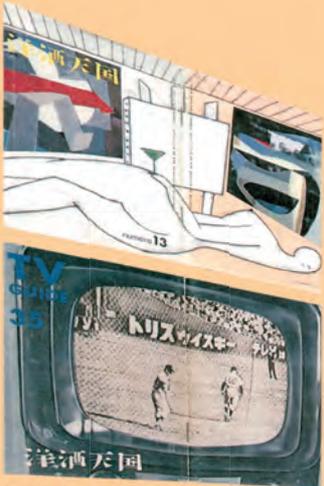




大阪高工醸造科の風景 人物は5代目佐藤卯兵衛(新政酒造)



テイストする竹鶴政孝(アサヒビール)



『洋酒天国』(サントリー)

入場無料
開館時間
10:30▶17:00

日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)は休館 ただし11月3日(祝)・4日目は開館

平成24年10月27日(土)～25年1月19日(土)

— 先駆・革新の系譜と大阪高工醸造科 —

上方”酒“ばなし

ものづくり

大阪大学総合学術博物館
創立10周年記念第15回企画展



『大日本物産園會』(ケンシヨク「食」資料室)

ミュージアム・レクチャー

12/8, 12/15, 平成25年1/12, 1/19

※いずれも14:00～15:30

定員60名 当日受付

ワークショップ

11/3, 11/10, 12/1

本坊酒造・サントリー・アサヒビール

※試飲あり。事前申込制(詳細は裏面のとおり)
いずれも17:00～

- 主催 大阪大学総合学術博物館
- 共催 大阪大学大学院工学研究科・日本生物工学会
- 協力 大阪大学21世紀懐徳堂・尚醸会



大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20 Tel:06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩10分 ※公共交通機関をご利用ください。



大阪吹田村醸造場の図(アサヒビール)

ものづくり

上方酒ばなし

—先駆・革新の系譜と大阪高工醸造科—



豊田秀吉朱印状 (天野山金剛寺所蔵)



渋谷ビールラベル (アサヒビール所蔵)

展示構成

- 序章** 古代・中世の酒づくり—都の酒、寺の酒—
- 第1章** 江戸を席卷する「下り酒」
- 第2章** 洋酒製造・普及の最前線
 - ①大阪の麦酒工場
 - ②寿屋のワイン販売戦略
- 第3章** ジャパニーズ・ウイスキーの先駆者
 - ①最初の事業者・鳥井信治郎
 - ②最初の技術者・竹鶴政孝
- 第4章** 大阪高工醸造科スピリッツ
- 終章** 文化に酔う

ミュージアム・レクチャー

※いずれも14:00～15:30 3Fセミナー室にて

【第45回】12月8日(土) 「日本における薬用酒」

森 隆治 (日東薬品工業・特別顧問)

【第46回】12月15日(土) 「国酒を支えた近代の技師たち」

溝口 晴彦 (菊正宗酒造・総合研究所長)

【第47回】2013年1月12日(土) 「ジャパニーズ・ウイスキー誕生「神話」」

竹内 恵行 (大阪大学大学院経済学研究科・准教授)

【第48回】1月19日(土) 「酔狂の室町時代」

松永 和浩 (大阪大学総合学術博物館・助教)

※いずれも聴講自由、試飲会なし。30分前より受付開始【定員60名(事前申込不要・先着順)】

ワークショップ

※いずれも17:00から 3Fセミナー室にて

11月3日(土) 「酒のみりよく ～焼酎編～」 (本坊酒造)

◆申込期間 平成24年10月5日～平成24年10月22日(必着)

11月10日(土) 「酒のみりよく ～ウイスキー編～」 (サントリー)

◆申込期間 平成24年10月12日～平成24年10月23日(必着)

12月1日(土) 「酒のみりよく ～ビール編～」 (アサヒビール)

◆申込期間 平成24年11月2日～平成24年11月13日(必着)

※いずれも事前申込必要 試飲会あり【定員30名】

創立10周年記念特別企画 「酒ヲ愛デ、文華ニ酔フ～絵に酔い、酒に酔い、音に酔い～」

11月24日(土) 13:00～16:45

■特別講演 …… 13:15～14:15
「摂津の酒—池田と呉春をめぐって—」 冷泉 為人 (冷泉時雨亭文庫・理事長)

■演奏会 …… 13:00～13:15 / 15:15～15:45 雅楽同好会 夕風

■試飲会 …… 15:00～16:45
●菊正宗酒造(灘) ●秋鹿酒造(能勢) ●新政酒造 ●小玉醸造(以上、秋田)
●米鶴酒造(山形) ●木戸泉酒造(千葉)

■会場 … 大阪大学会館 講堂・アセンブリーホール (〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-13)

※特別講演は申込不要、試飲会は事前申込必要【講演会定員 200名 試飲会定員 100名】

※特別企画の試飲会への参加は、特別講演聴講者に限らせていただきます。(試飲会への参加は不可です。)

◆申込期間 平成24年10月22日～平成24年11月5日(必着)

各種催しの申込について

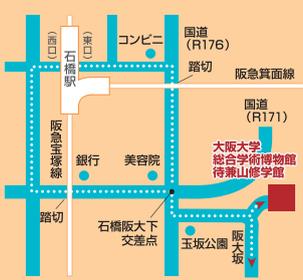
- ワークショップ、創立10周年記念特別企画の試飲会については、往復はがきでの事前申込が必要です。
- 1名につき1枚の往復はがきで催事名(ワークショップについてはタイトルごとに1枚)・住所・氏名・電話番号・年齢を記入し、返信はがきの表に住所・氏名を明記のうえ、下記「申込先」宛にご応募ください。(但し、ご家族での応募に限り複数名の応募が可能です。全員の氏名・年齢を記載願います。)
- 後日、可否の結果をはがきでお知らせいたします。
- 試飲会については、20歳未満の方、お車でお越しの方はお断りさせていただきます。また、年齢確認をさせていただくこともございます。
- 申込先: 〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 (大阪大学会館4階) 大阪大学総合学術博物館

会場・お問い合わせ

大阪大学総合学術博物館 待兼山修学館
 〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-20
 Tel: 06-6850-6284
<http://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

交通のご案内

阪急宝塚線「石橋駅」下車 徒歩10分 ※公共交通機関をご利用ください。



上方は日本列島の酒の歴史をリードしてきました。しかもそれは生産・技術に止まらず、社会・文化にまで及びます。

江戸時代、清酒を大量生産した伊丹・池田、寒造りを確立した灘などの「下り酒」が江戸の市場を席卷し、経済的繁栄を背景に文人墨客を集めました。近代には巨大ビール工場が明治24年(1891)に吹田村に登場し(現アサヒビール吹田工場)、斬新な広告でワインをヒットさせた寿屋(現サントリー)が、大正13年(1924)に山崎で国産ウイスキーの製造を開始して、洋酒の製造・普及を牽引しました。

明治30年(1897)、国内初の醸造科が大阪高等工業学校(大阪大学工学研究科の前身)に誕生しました。焼酎白麹の発見者・河内源一郎(1883-1948)、秋田吟醸酒の父・花岡正庸(1883-1953)、ウイスキーの伝道師・竹鶴政孝(1894-1979)(ニッカウヰスキー創業などを輩出し、大阪帝国大学理学部卒の佐佐敬三(1919-1999)(元サントリー会長も、日本に「洋酒のある生活」を定着させるなど、酒造業の近代化に貢献しました。

本展覧会では、上方および大阪大学の先駆的・革新的役割について、各種資料に基づき多方面から紹介いたします。当館創立10周年を記念した文理融合の展覧会をお楽しみ下さい。